



日本共産党
長岡京市議会議員

二階堂けい子

議員団 tel. 955-9551 fax. 955-9741

自宅 tel. & fax. 955-4505

議会だより No.270

日本共産党長岡京市会議員団

2021年 6月議会報告

「子ども達には運動会、修学旅行を我慢させて、五輪だけはするの」と、若いお母さん。「若い人のワクチン接種はいつなんでしょう?」と、お孫さんと同居の高齢の方。皆さんの声、聞かせて下さい。



命・くらし・営業守れ

市には20億円超の基金が！

感染拡大防止や経済支援もなしに、五輪へ突入した自公政権。日本共産党議員団は昨年8回・192項目にわたり、市にコロナ対策の申し入れをおこない、6月議会では暮らしを守る施策が一步前進しました。

しかし今回の市独自施策は、ほぼ国から交付された「地方創生臨時交付金」の範囲内です。PCR検査や療養者支援に関しては、市としての独自の取り組みは全くありません。

長岡京市は昨年度、市の貯金といえる財政調整基金を温存しました。今こそ20億円超の基金も生かし、市民生活を守るべきです。

今議会で実現



18才までの子ども1人あたり
5千円の商品券給付



75歳以上の高齢者等1人あたり
2千円のタクシー券給付



3割お得になる住宅リフォーム
工事券発行(商工会が実施)



感染発生福祉事業所や
保育等事業所に支援金

上記で約1.4億円。一方、昨年度に国から交付された臨時交付金の残高も約1.4億円です。



安心・迅速なワクチン接種を！ 混乱の原因ただす

5月6日、多くの方が電話もつながらず、大きな不安が広がりました。市は「国のワクチン供給予定が不透明だったため、個別接種の予約開始が遅れ、集団接種も当初は少ない枠しか設定できず予約が殺到した」と述べました。自治体に「早くしろ」と圧力をかけながら、必要なワクチンを供給しない国の責任は重大です。一方、電話が通じなかったことに市は「反省する」と述べました。

党議員団は、自ら予約できない方への支援とともに、障がい者、教員・幼稚園教諭や保育士、介護・福祉職員などの優先接種を求め、現在接種が進行中です。

可決

「ワクチン接種の安全かつ迅速な実施を求める意見書」

日本共産党と会派「輝」が提案し、自民系以外の全員賛成で可決されました。

「オリンピック・パラリンピックの中止または延期を求める意見書」は、一票差で否決となりました。

これまで党議員団が提案し 可決したコロナ対策の意見書

- PCR検査・追跡調査の拡充を求める
- 消費税減税や、持続化給付金の再支給を求める
- 介護事業の持続・発展を求める
- 文化・芸術活動への支援を求める
- 少人数学級の実現を求める